



ざ・神港労連

第63回定期大会 新型コロナの影響で代議員制での開催に

十月十六日にポルトオアシスで第六十三回・神戸港湾労働組合連合会定期大会が役員が十八名、代議員二十九名にて開催した。また、来賓には日港労連より竹内中央執行委員長、港運同盟兵庫地本から梶山委員長、神戸港湾から磯田事務局長代理にお越し頂きました。続いて吉岡執行委員長による執行部を代表しての挨拶をする前に八月十九日にコンテナ船・荷役作業中に組合員が亡くなる重大災害が起き亡くなられた組合員に哀悼の意を表し黙祷をして、神港労連として、このような重大災害が二度と起きない様に労働災害防止への取り組みをこれまで以上に強化しなければなりませんと述べた。

また、今年初旬からの新型コロナウイルスが蔓延し、感染リスクにさらされながら厳しい作業環境の中で、若干の感染者が出ましたがクラスターも起きず、また猛暑日が続く中、重度の熱中症もなく安全作業で乗り越えた事に対してお礼申し上げます。

第81号

発行元

神戸港湾労働組合連合会

上げます。

そして、港湾情勢でありますがコロナウイルスの感染拡大で港湾貨物量が落ち込み、港湾各社の業績に大きな影響を与えております。一方ではRTGの遠隔操作、自動化をはじめとした様々な港湾政策に港湾労働が翻弄され続けております。専門業労働組合の運動の根幹は、現場で働く組合員の雇用と職域を守り、安心して働ける労働環境の確保と安全な職場を構築する事が一番であり、運動方針にも一番の主軸として掲げてます。

二〇春闘の取り組みの中で関連專業の5・9協定履行の具体化の協議を進める事が協定されました。港荷交渉、関連交渉では、昨年実績以上の結果を求め交渉を重ねましたが、港荷交渉は各個別労使による基準内賃上げ協議が整った事を確認し、統一妥結とする形式を行ない、関連交渉においても一定の成果を上げた。最後に神戸港の取り扱いに関して、コンテナ船、在来船の取扱いは減少して、

予断を許さない状況であります。船社や荷主の利便性ばかり先行されてますが、これまで諸先輩方が命をかけて守ってきた神戸港の雇用秩序と常用港湾労働者中心の港を維持継続する事、さらに労働者が働きやすい安全・安心な港であり続けられるように努力し、その為にも更なる団結力の強化と組合運動へのご理解とご協力をお願い致します。と、述べた。

大会はその後、活動経過、会計決算報告、二〇運動方針(案)予算(案)などを執行部より提案し、全会一致で承認された。

また、大会では更なる組織強化・団結を図るため、吉岡執行委員長と集結された代議員の皆様と丹ンバロー三唱で大会を終了した。



(吉岡執行委員長)

2020年度 神港労連役員名簿

執行委員長	吉岡 幸治
委員長代行	崎田 克己
副執行	
委員長	高島 弘司
	平井 成明
	松田 行生
書記長	正木 一
書記次長	
(新任)	大石 浩二
会計	安部 展行
執行委員	
全	荳田 邦秀
全	後藤 圭吾
全	小林 尚人
全(新任)	古澤 隼実
全	菊屋 優彰
全	杉村 喜久
全	乾 孝博
全	川戸 努
会計監査	
全	岡崎 正良
	榮 恵輔
特別執行委員	竹内 一
特別相談役	西川憲一郎